

平成23年3月14日
日本原子力発電株式会社

一部報道における東海第二発電所の自動停止に関する記事について

本日、一部報道において、当社東海第二発電所に関する記事として「消防庁によると13日、茨城県東海村の東海第2発電所で冷却系ポンプが停止した」と報道されておりますが、この件について当社が発表した内容は、以下の通りです。

<平成23年3月12日公表(抜粋)>

- 東北地方太平洋沖地震により、定格熱出力一定運転中の東海第二発電所は、タービン振動大によりタービンが停止し、原子炉が自動停止しました。
- 現在、常用の外部電源は停止中です。
- このため、非常用ディーゼル発電機3台が正常に起動して、運転に必要な電源を確保しました。その後、津波の影響により非常用ディーゼル発電機用海水ポンプが1台停止したことから、非常用ディーゼル発電機を1台停止し、残り2台で必要な電源を確保しております。

東海第二発電所は、現在、非常用ディーゼル発電機の電源により原子炉を適切に冷却しており、安全な停止状態である「冷温停止」へ移行するための作業を順調に行なっております。

以上